

福岡県立糸島農業高等学校 根っこ部

高校生ボランティア・アワード
2018

活動概要

アブラナ科植物を守りたい 広がれ！根こぶ病対策の輪

アブラナ科植物だけに発病する難防除土壤病害である**根こぶ病**の新しい対策技術の研究と、生産者の土壌を対象とした発病の有無を診断するボランティア活動、ポスター等の作成や研究発表で啓発活動を行っている。



活動の目的

根こぶ病で困っている生産者を助ける

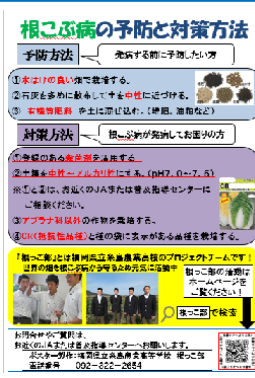
キャベツ等の産地を守るためには、栽培に関わる全ての方が一緒になって対策をしないと被害が続くことを学び、誰でも簡単に低コストで予防と防除ができるようにするため。



活動の詳細

対策新技術の開発と世界へ向けた啓発活動

- ①対策新技術の開発・乳酸菌を活用した農業に頼らない防除実験
- ②ボランティア活動・生産者の土を使って根こぶ病の有無を診断し、診断結果を対策に活用してもらう
 - ・糸農式発病診断法の技術指導
- ③糸農発！啓発活動・家庭菜園の方々を啓発のターゲットとしてオリジナルのポスターを作成し、JAや種の販売店舗で展示する
 - ・各種大会や講習会で根こぶ病対策の情報発信



根っこ部



根こぶ病対策研究チームの7代目として、4名で活動している。生産者のため全国どこへでも啓発と技術指導に行くことができる。

今後の展望

アブラナ科植物を守る！

乳酸菌実験を成功させ、世界中に新たな技術として啓発する。アブラナ科植物の栽培を安心して続けられるようにする。